

第1学年 国語科学習指導案

児童 男12名 女10名 計22名
指導者 澤田 早苗

1 研究主題 確かに読み取る力を育てる指導のあり方
読むことの系統性をおさえた指導（一人学び・学び合い）を通して

2 単元名 『くらべて よもう』
（教材名 「じどう車くらべ」）

3 単元について

（1）児童について

児童は、1学期「いろいろなくちばし」で初めて説明的文章を学習した。この中で「問い（問題）」と「答え」の文を見つけたり、くちばしの特徴を絵と照応させながら読み取ったりしてきている。学級の児童は前記のことが概ねできている。しかし、中には文として読むこと（音読）が十分ではなく内容をつかみきれない児童や言葉を一つ一つしっかりとおさえていないため読み取りが不十分な児童もいた。

学級の児童は、読書への関心が高い子が多いが、まとまった文章を読むことを苦手としている児童もあり、絵や写真を見て楽しんでることが多い。

事前テストの結果は、「しごと」を問う問題の正答率は41%、「つくり」を問う問題の一つ目は18%、2つ目は23%であった。「しごと」は、重いものを「もつ」「はこぶ」などという回答が多く、「つりあげる」ということが理解されていないものと思われる。「つくり」については、書かれていることがイメージ化されておらず誤答が多かったものと思われる。

（2）教材について

低学年における「C読むこと」の目標は「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書をしようとする態度を育てる。」である。説明的文章としては、1学期に「いろいろなくちばし」を扱った。鳥のくちばしの特徴を記したこの文章で、絵や写真も含めて説明されている事柄を正確に読み取るとともに、問いと答えという説明文の基本的なパターンを学んだ。本単元はこの学習の題材に自動車を取り上げ、自動車の働きとつくりの関心に興味を持って読み、内容の大体を読むことを目標としている。この単元の学習を受けて、次単元「どうぶつの赤ちゃん」では、違いを考えながら読むことに発展していくものである。

本教材は自動車という児童に身近な題材を取り上げており、興味・関心を持って学習できる教材である。また、説明のしかたは、「話題・問題提起 問題に対する説明」を、「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形をとっており、「しごと」と「つくり」に着目して読むというように、読みのねらいを明確にして読むことができる教材である。

（3）指導について

内容を十分に読み取れない児童もいることから、まずは読む機会を多くし、内容をつかんでいけるようにしたい。また、絵と文の照応とともに言葉一つ一つを取り上げて押さえることにより内容理解に迫りたい。

一人学びでは自動車の「しごと」と「つくり」にサイドラインを引く活動を通して自分で問いに対する答えを見つけていくということに慣れさせていきたい。学び合いでは「しごと」や「つくり」を出し合いながら絵と文を照応させたり、具体物の操作や動作化を通して言葉一つ一つに着目させたりして内容理解を図りたい。

4 単元の目標

（1）関心・意欲・態度

自動車の仕事とつくりの関心に興味をもって読もうとしている。

(2) 読むこと目標

三種類の自動車について仕事とつくりの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。(イ)

(3) 言語に関する目標

片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。(イ(ア))

5 単元の評価規準(身につけさせたい力:基礎・基本)

	関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
単元の評価規準	・乗り物の本などに興味をもち、探して読もうとしている。	・乗り物について書かれた本に興味をもって読んでいる。 ・「しごと」と「つくり」という構成をつかんで読み、内容の大体をとらえている。 ・語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読んでいる。	・語や文としてのまとまりを意識してはっきりとした発音で読んでいる。 ・新出漢字や片仮名を読んだり書いたりしている。 ・文末表現の違いに気づいている。

6 指導計画と評価規準(全9時間)

段階	学習活動		時間	評価規準		
				関心・意欲・態度	読む	言語事項
一次	み	自動車図鑑を作る計画を立てる。	1	自動車図鑑を作ることに興味を持ち、「じどう車くらべ」を読もうとしている。	語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読むことができる。	新出漢字や片仮名を読んだり書いたりすることができる。
二次	ふかめる	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を確かめる。	1	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」の關係に興味をもって読もうとしている。	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」について読み取ることができる。	「～は～しています。(仕事)」「～あります。」(つくり)の文末の違いに気づく。
		トラックの「しごと」と「つくり」を確かめる。	1	トラックの「しごと」と「つくり」の關係に興味をもって読もうとしている。	トラックの「しごと」と「つくり」について読み取ることができる。	「つくり」の文末が「～います。」になっていることに気づく。
		クレーン車の「しごと」と「つくり」を確かめる。	1 本時	クレーン車の「しごと」と「つくり」の關係に興味をもって読もうとしている。	クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取ることができる。	複合語「つりあげる」並列「～たり～たり」などをとらえることができる。
三次	まとめる	三種類の自動車の「しごと」と「つくり」をまとめる。	1	「しごと」と「つくり」を確かめ、カードを整理しようとしている。	読み取った内容を確認しながら、絵に表すことができる。	漢字や片仮名を正しく読んでいる。
四次	ひろげる	いろいろな自動車について書いてある本を読む。	1	乗り物の本に興味をもち、進んで読もうとしている。	自分の好きな自動車の本を選び、読むことができる。	語や文としてのまとまりを意識して読むことができる。
		自分の好きな自動車の「しごと」と「つくり」を調べる。	1	選んだ自動車について必要な情報を集めようとしている。	好きな自動車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。	習った漢字や片仮名を使うことができる。

ひろげる	自分の好きな自動車のカードを作る。	1	進んでカードを書こうとしている。	読み取ったことを「しごと」「つくり」に分けて表現できる。	語と語や文と文の続き方を考えて敬体の文章を書くことができる。
	自動車図鑑を完成させ、見合う。	1	友達の自動車図鑑の良さを見つげながら見ている。	「しごと」「つくり」を分けて読み取ることができる。	丁寧な言い方で発表している。

7 本時の指導

(1) 目標

クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係に興味をもって読もうとしている。(関心・意欲・態度)

クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取ることができる。(読むことイ)

複合語「つりあげる」、並列「～たり～たり」を知る。(言語事項)

(2) 具体的評価規準と手だて

	A：十分満足	B：概ね満足	C：努力を要する
読むこと	クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取り、感想を書いている。	クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取っている。(クレーン車の「しごと」と「つくり」を分けてまとめることができる。)	穴あきのワークシートに書かせてまとめる。

(3) 本時の授業仮説

一人学びにおいてクレーン車の「しごと」と「つくり」について書いている文にサイドラインを引く活動を行い、学び合いにおいてみんなで話し合ったり動作化したりしながら絵と文を照応させる活動を行うならば、クレーン車の「しごと」と「つくり」について正しく読み取ることができるであろう。

(4) 展開

段階	学習の内容・子どもの活動	時間	教師の働きかけ・評価 (主発問・留意点 個別の支援 評価)
みとおす	1 前時の確認	5	・課題を書き、一斉読する。 クレーン車は、どんな しごとを して いますか。 そのために、どんな つくりになっ ていますか。
	2 本時の課題を確認する。		
ふかめる	3 読みの見通しをもつために音読する。(連れ読み、指名読)	3	クレーン車はどんなしごとをしているか、そのためにどんなつくりになっているか書いている文を見つながら読みましよう。
	4 各々の視点に沿って読み深める。(一人学び)	3	クレーン車はどんなしごとをしているか書いてある文にサイドラインを引きましょう。 そのために、どんなつくりになっているか書いてある文にサイドラインを引きましょう。
	5 とらえたことをもとに学び合う。(学び合い)	20	クレーン車は、どんなしごとをしていますか。 そのために、どんなつくりになっていますか。 ・絵と文を照応させながら、「しごと」や「つくり」を理解させる。 ・「そのために」という言葉に注目させ、仕事とつくりには関係が

			<p>あること、仕事とつくりのまとまりをつなぐ役割を果たしていることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うで」のつくりや「かたむく」という言葉について動作化をしながら理解させる。 ・複合語「つりあげる」、並列「～たり～たり」を押さえる。 ・クレーン車の「しごと」や「つくり」について音読を入れながら確認していく。
ま と め る	6 分かったことをまとめる。	9	<p>クレーン車の「しごと」と「つくり」をまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」「つくり」を言葉でまとめる。早くできた子には、すごいなと思ったことを書かせる。 クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取ることができたか。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>クレーン車は、おもいものをつりあげるしごとをしています。 そのために、じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするように、つくってあります。 車たいがかたむかないように、しっかりしたあしが、ついています。</p> </div>		
	7 まとめの音読（一斉読）	5	<p>クレーン車のしごととつくりを確かめながら読みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードに感想も含めて書かせる。 ・自動車の本を読むことを知る。
8 自己評価			
9 次時の学習内容を知る。			

(5) 板書計画

したあしがしつぽつしつぽつ

車たいがかたむかないように、しっかり

つくり

うごいたり、のびたり、うごいたり、のびたり

しごと

おもいものをつりあげる

クレーン車の絵

クレーン車は、どんなしごとをしていますか。
 そのために、どんなしつぽつになっていますか。